



daitobo

第196期 株主通信

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

大東紡織株式会社

証券コード：3202

株主の皆様へ



代表取締役社長
山内 一裕

株主の皆様には平素より格別のご高配とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第196期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の株主通信をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

まず、当社グループの第196期の業績について改めてご報告申し上げます。

当期は、繊維・アパレル事業の構造改革でスタートする厳しい滑り出しとなりましたが、構造改革の効果と静岡県に所在する商業施設「サントムーン柿田川」の好調な業績に支えられ、売上高は54億7百万円（前期比8.9%減）となりましたものの、人件費などの販売管理費削減効果もあり、営業利益は3億78百万円（前期は営業損失2億32百万円）、経常利益は74百万円（前期は経常損失5億19百万円）となり、さらに、紳士服販売子会社の一部事業譲渡による特別利益64百万円の計上により親会社株主に帰属する当期純利益は1億24百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失6億44百万円）と前期比増益の黒字決算となりました。

セグメント業績につきましては、次の通りでございます。

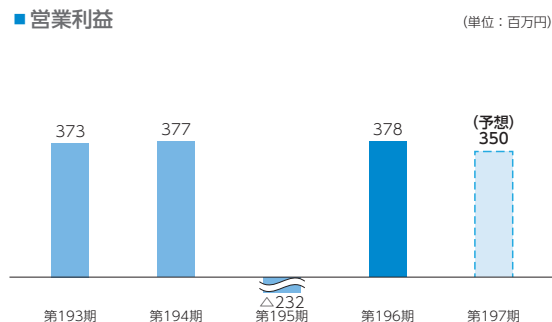
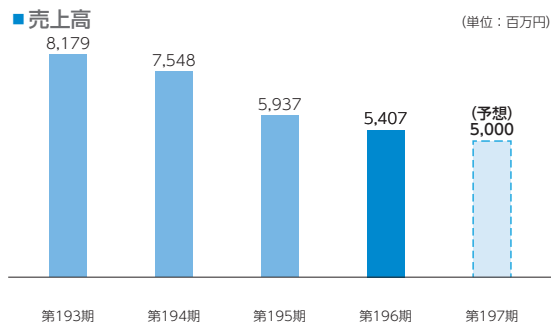
■ 繊維・アパレル事業

構造改革に伴い売上高は22億37百万円（前期比18.0%減）となりましたものの、販売管理費が前期比6億17百万円改善、期末に約50百万円の貸倒引当金などを積み増したため、セグメント営業損失は49百万円となりましたが、前期比6億61百万円の改善となり、同事業のセグメント営業損益の赤字脱却に目途を付けたと考えております。

■ 商業施設事業

静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、総じて堅調な推移となりましたものの一部

財務ハイライト



テナントが一時的に休止したことが響き、売上高は23億24百万円（前期比3.1%減）、セグメント営業利益は8億83百万円（前期比1.0%減）となりました。

■ ヘルスケア事業

バイオ麻関連の春夏物寝具や家庭用温熱電位治療器が売上を伸ばしたことから、売上高は8億45百万円（前期比4.3%増）と増収になりましたが、原材料費の高止まりや人員増強に伴う経費増を吸収できずセグメント営業損失は10百万円（前期はセグメント営業利益35百万円）となりました。

■ 次期の見通し

次期の見通しは、売上高5,000百万円（前期比7.5%減）、営業利益350百万円（前期比7.6%減）、経常利益140百万円（前期比87.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益90百万円（前期比27.9%減）を見込んでおります。

売上高は前期に一部残っていた繊維・アパレル事業の構造改革前の売上高が落ちるため減収となりますものの、販売管理費削減効果や支払利息負担の軽減効果により経常利益は増益となる見通しです。一方、シンジケートローン実行に伴う借入契約中途解約損失などの特別損失計上があり親会社株主に帰属する当期純利益は減益となりますものの90百万円の黒字決算となる見通しです。

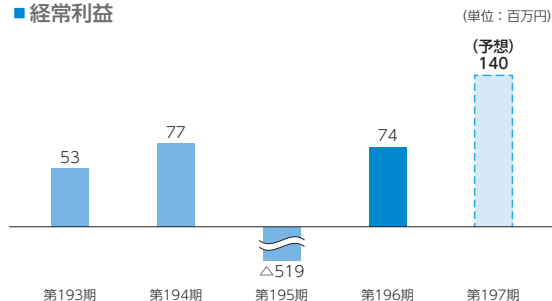
■ 最後に

先般の株主総会のご承認を賜り、当社は監査等委員会設置会社へ移行いたしました。また、本年9月1日からダイトウボウ株式会社と商号を新しくいたします。さらに、財務改革の柱とも言える借入金全額のシンジケートローンによる借換えも本年6月に実現いたしました。

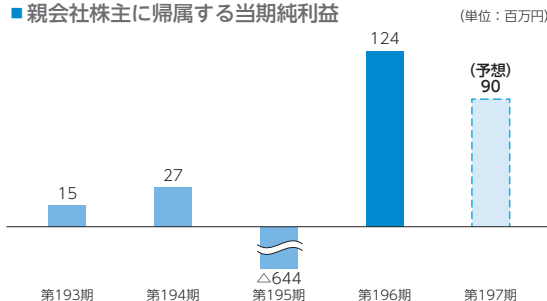
今後は、当社120周年の節目にあたり、新しい機関設計での経営体制の下、新たにスタートする中期経営計画「Bridge to the Future～未来への架け橋～」に基づく各事業戦略を確実に遂行し、各種財務目標の達成に努めるとともに、新生「ダイトウボウグループ」の新たな成長ステージへの進化を実現してまいりたいと存じます。そのため、全社一丸となって経営諸施策に取り組み、企業価値の向上ひいては株価の向上に精一杯努めて参る所存でございますので、株主の皆様におかれましては倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

■ 経常利益



■ 親会社株主に帰属する当期純利益



※予想数値は発表日現在で入手可能な資料に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

決算レビュー

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 平成28年3月31日現在	前期 平成27年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	1,856,216	2,726,307
固定資産	17,140,028	17,678,992
有形固定資産	16,060,922	16,384,234
無形固定資産	12,995	16,669
投資その他の資産	1,066,110	1,278,088
資産合計	18,996,244	20,405,300
(負債の部)		
流動負債	4,561,660	5,484,446
固定負債	10,134,269	10,770,381
負債合計	14,695,929	16,254,827
(純資産の部)		
株主資本	△ 815,826	△ 940,636
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	503,375	503,375
利益剰余金	△ 2,812,168	△ 2,937,000
自己株式	△ 7,033	△ 7,012
その他の包括利益累計額	5,116,141	5,091,108
純資産合計	4,300,315	4,150,472
負債純資産合計	18,996,244	20,405,300

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	前期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	5,407,011	5,937,473
売上原価	4,100,505	4,661,249
売上総利益	1,306,506	1,276,224
販売費及び一般管理費	927,705	1,508,834
営業利益又は営業損失(△)	378,801	△ 232,610
営業外収益	84,818	19,942
営業外費用	388,822	307,181
経常利益又は経常損失(△)	74,797	△ 519,849
特別利益	64,814	—
特別損失	—	95,352
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	139,612	△ 615,201
法人税、住民税及び事業税	15,393	30,128
法人税等調整額	△ 613	△ 1,212
当期純利益又は当期純損失(△)	124,831	△ 644,117
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	124,831	△ 644,117

連結キャッシュ・フロー計算書

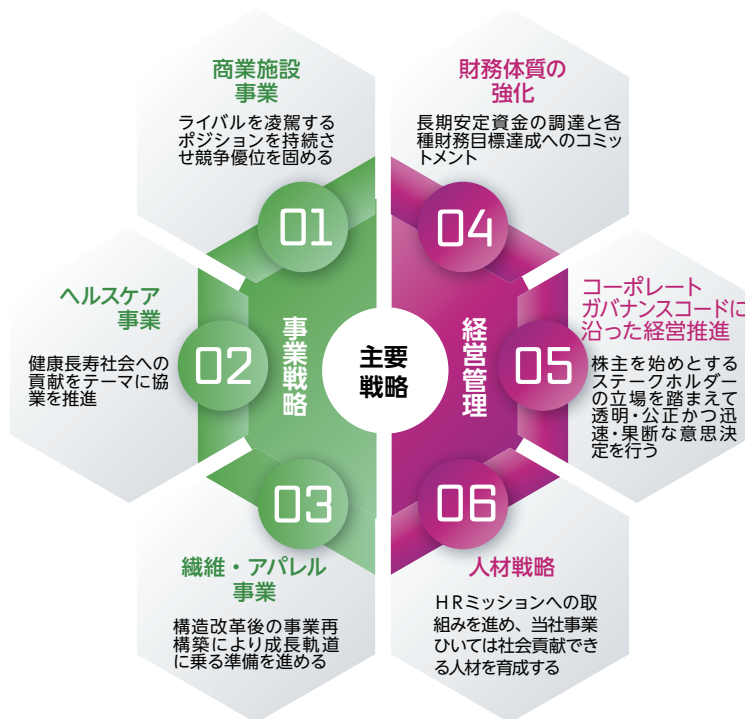
(単位：千円)

科目	当期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	前期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 229,557	92,427
投資活動によるキャッシュ・フロー	50,264	△ 127,119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 52,686	△ 27,045
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 689	2,917
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 232,669	△ 58,819
現金及び現金同等物の期首残高	919,966	978,786
現金及び現金同等物の期末残高	687,297	919,966

中期経営計画 **Bridge to the Future** ～未来への架け橋～

■ 概要

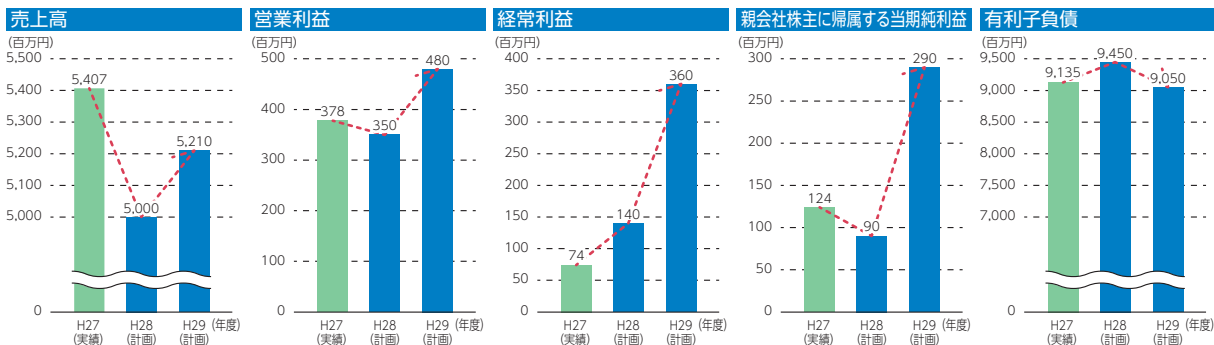
- 事業環境が不透明なことを勘案し、2年間の短期集中型の計画としました。
- その間、「財務体質の強化」、「プロパー事業の強固な基盤作り」、「利益の底上げ」に取り組み、次のジャンプアップに向けたいわゆる「未来への架け橋」とも言うべき位置付けとします。
- 下図のとおり、事業毎および経営管理面につき6つの戦略を策定し取り組みます。



■ 計数計画等

- 計画最終年度には、売上高5,210百万円、営業利益480百万円、経常利益360百万円、親会社株主に帰属する当期純利益290百万円の計画とし、財務目標として、①経常利益率5%以上②ROE5%以上③流動比率120%以上④自己資本比率25%以上を掲げます。新生「ダイトウボウグループ」として、本計画の完遂ひいては企業価値の向上に全力をあげて取り組む所存でございます。

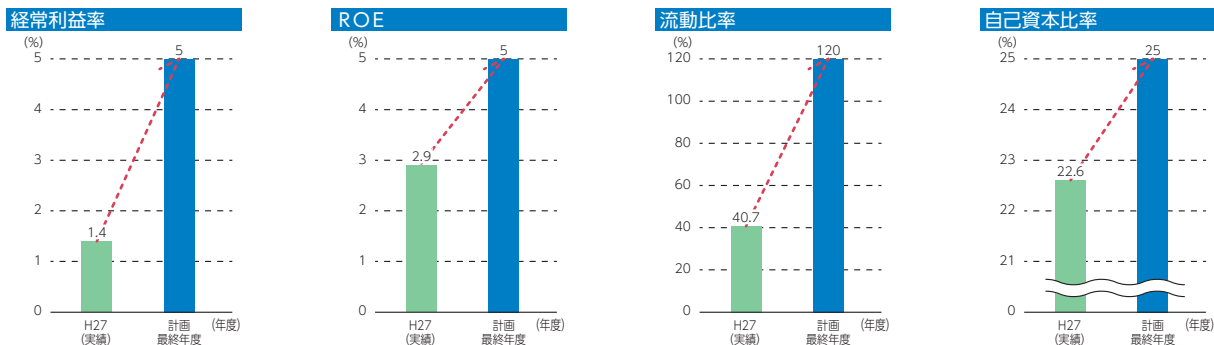
■ 計数計画



(単位: 百万円)

	平成27年度 (実績)	平成28年度 (計画)	平成29年度 (計画)
売上高	5,407	5,000	5,210
営業利益	378	350	480
経常利益	74	140	360
親会社株主に帰属する当期純利益	124	90	290
有利子負債	9,135	9,450	9,050

■ 財務目標 (※利益率及び財務内容の安定性を高める観点から、下記の4指標を目標とします。)



	平成27年度実績	計画最終年度
経常利益率	1.4%	5%以上
ROE	2.9%	5%以上
流動比率	40.7%	120%以上
自己資本比率	22.6%	25%以上

事業戦略

商業施設事業

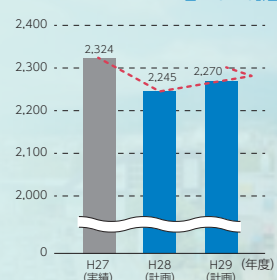
戦略

静岡県下においてライバルを凌駕する
ポジションを持続させ競争優位を固める

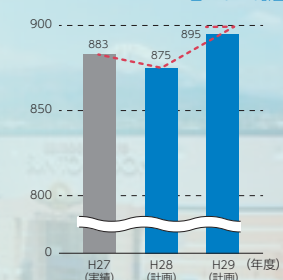
具体策

- ① 施設のアトラクティブネスを高める
施設内回遊性の向上
- ② ファミリー層の誘致
地元密着の広告宣伝の強化・ファミリー向けイベントの強化
- ③ 事業提携先との連携強化
- ④ 人材のシフト・育成強化

売上高 (百万円)



セグメント営業利益 (百万円)



ヘルスケア事業

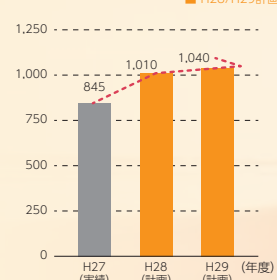
戦略

健康長寿社会への貢献を
テーマに協業を推進する

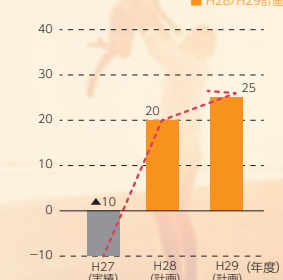
具体策

- ① 良質な睡眠をキーとした「トータルヘルスケア」への取り組み
- ② 国内グループ工場活用によるJapanクオリティの訴求
- ③ アライアンスを含めた取引先との共通プラットフォームやビジョンの共有推進
- ④ 健康関連商品におけるネット販売等の直販ルート拡充
- ⑤ 製販一体、自社ブランド、独自技術製品 (Eウール・バイオ麻等) を強みとして活かす

売上高 (百万円)



セグメント営業利益 (百万円)



繊維・アパレル事業

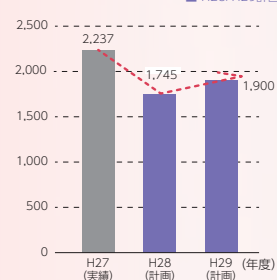
戦略

構造改革後の事業再構築により
成長軌道に乗る準備を進める

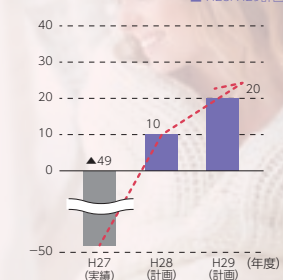
具体策

- ① 守るべき事業は守る・・・祖業である毛織物関連の事業分野 (官需制服・ニット等)
- ② エンドユーザーを意識した「売れる商品作り営業」への転換
- ③ 中国現地法人による中国内OEM事業の強化

売上高 (百万円)



セグメント営業利益 (百万円)

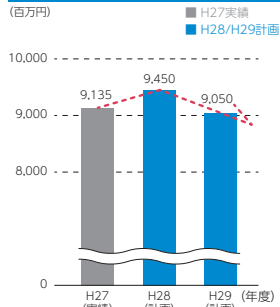


1. 財務戦略

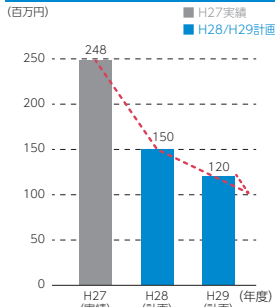
戦略 財務体質の強化

- 具体策
- ①長期安定資金の確保
 - ②支払利息及び借入金返済負担の軽減
 - ③有利子負債の削減
 - ④財務目標達成に向けたコミットメント

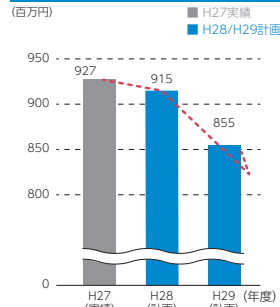
有利子負債 (百万円)



支払利息 (百万円)



販売管理費の推移 (百万円)



戦略 経費の無理無駄を排除し、効率的かつ効果的に抑制運営

- 具体策
- ①本部経費の見直し
 - ②本社規模に見合ったオフィスへの移転

2. コーポレートガバナンスコードに沿った経営推進

方針

- ▶株主を始めとするステークホルダーの立場を踏まえて、透明・公正かつ迅速・果断な意思決定を行う
- ▶当社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上のための自律的な対応の推進

主要行動プラン

- ▶監査等委員会設置会社への移行によるガバナンス強化
- ▶ストックオプション制度の導入による株価向上へのインセンティブ強化
- ▶株主向け資料の英文化促進による外国人株主への情報充実

3. 人材戦略

HR※ミッションへの取り組み

- ▶当事業活動を通じて、主体的に行動し組織を創り動かせる有為な人材を育成することで、社会に貢献する
- ※HR: Human Resources

組織力の発揮

- ▶若手人材や女性戦力の抜擢を進め、組織力を高める

経営人材の育成

- ▶中長期テーマとして次世代を担う経営人材の育成に注力する

トピックス

平成28年6月24日開催の当社第196回定時株主総会において定款の一部変更が可決承認されました。この結果、平成28年9月1日から当社は商号を変更します。

商号変更

当社創立120周年を節目として、非繊維関連事業が過半となっている現在の事業実態を踏まえてカタカナ表記とすることとし、名称としては長年当社の呼称として定着しているダイトウボウを新商号とするものであります。

ダイトウボウ株式会社

(英文名:Daitobo Co., Ltd.)

グループシンボルの制定

120周年を機に新商号とすることに伴いグループシンボルを新たに制定します。



グループシンボルのテーマ

『発想力を活かし無限大の可能性へ』

* 末尾の「bo」を無限大のインフィニティをモチーフとしてロゴ化しました。企業の持続的発展を通じ、人々の豊かな生活に寄与する姿勢をシンボライズしたものです。

また「i」の文字を人に見立て、頂点の●は柔軟な発想力のアタマをイメージ、そんな人材の集合が当社グループの明日を創っていく、といった想いを込めました。

当社グループならではの「発想とヒト」を武器に企業価値を向上させていく様をイメージしたものです。

※**グリーン**は、子会社新潟大東紡株式会社が存在する魚沼産コシヒカリの産地として有名な新潟県十日町市近郊の山間部の田園風景をイメージしました。

ブルーは、子会社大東紡エステート株式会社が存在する静岡県三島市近郊の日本名水100選の一つである柿田川の名水をイメージしています。

ビジネスフィールド

商業施設事業

・静岡県下有数の商業施設「サントムーン柿田川」

心地よい生活文化を提案し続けるdaitoboの商業施設。「お客様に喜ばれる空間づくり」を基本ビジョンに、豊かな生活空間を提供してまいります。



アパレルファッション・ユニフォーム事業

・官・民ユニフォーム ・ニット企画 ・生産管理型OEM

daitobolは「お客様に喜ばれるモノづくり」を基本ビジョンとして、アパレルファッションからユニフォームまで幅広くお客様のニーズに応えてまいります。



ヘルスケア事業

・健康素材関連 ・家庭用医療機器 ・健康食品 ・一般寝装品

高齢化の進展と健康意識の高まりに応じて、当社独自技術の商品を活かして、お客様の健康で快適な生活をサポートします。当社グループの国内生産拠点の高い技術力が強みです。



海外関連事業

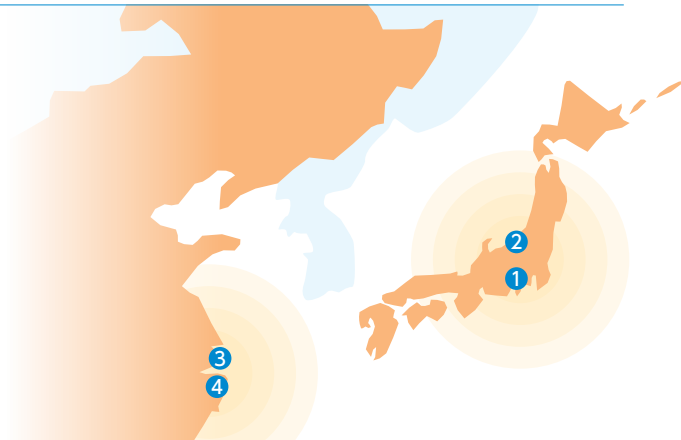
・中国内OEM

主に中国の上海を中心に、東南アジアも視野に入れて海外でのOEM事業展開に取り組んでおります。



グループ企業

- ① 大東紡エステート株式会社** (ショッピングセンターの管理・運営)
〒411-0902 静岡県駿東郡清水町玉川61-2
TEL : 055-981-8800 URL : <http://www.suntomoon.co.jp/>
- ② 新潟大東紡株式会社** (寝装品製造)
〒948-0123 新潟県十日町市下平新田133-1
TEL : 025-768-2996 URL : <http://www.niigata-daitobo.com/>
- ③ 上海大東紡織貿易有限公司** (貿易)
中華人民共和国上海市長寧区 天山西路120号兆城ビル802号室
TEL : 021-62757733
- ④ 寧波杉京服飾有限公司** (縫製・持分法適用会社)
中華人民共和国浙江省寧波市 鄞州区古林鎮鵝頸村杉杉路228
TEL : 0574-88323201



会社概要 (平成28年6月24日現在)

創 資 事 本	立 本 業 所 社	明治29年2月27日 1,500,000,000円 東京都中央区日本橋小舟町6番6号(注) ☎ 03 (3665) 7816
	名古屋営業所	愛知県一宮市本町4丁目17番9号(明治産業第2ビル) ☎ 0586 (23) 4811
	大阪営業所	大阪市中央区南久宝寺町2丁目3番6号 ☎ 06 (6262) 8322
	監査法人	東陽監査法人 BDO Internationalのメンバーファーム

daitoboコーポレートサイト「IR情報」のご紹介

当社ホームページでは決算短信や有価証券報告書をはじめ、最新の財務情報・適時開示情報等のIR情報を掲載しております。是非ご覧ください。



<http://www.daitobo.co.jp/ir/>

(注) 本社住所は本年9月1日から次の通り変更予定です。
東京都中央区日本橋本町1丁目6番1号

役員の状況 (平成28年6月24日現在)



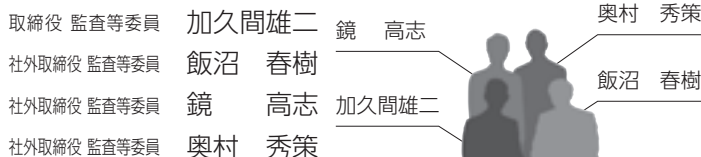
代表取締役社長 山内 一裕
代表取締役副社長 野村 利泰
取締役執行役員 三枝 章吾
取締役 澤田 康伸



取締役 (監査等委員である取締役を除く)



監査等委員である取締役



(注1) 澤田康伸氏、飯沼春樹氏、鏡 高志氏および奥村秀策氏は社外取締役(独立役員)であります。
(注2) 監査等委員4名をメンバーとする監査等委員会を設置しております。

株式の状況

株式の状況 (平成28年3月31日現在)

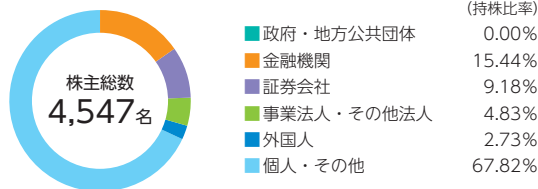
発行可能株式総数	96,000,000株
発行済株式の総数	30,000,000株
株主総数	4,547名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
三井住友信託銀行株式会社	1,478	4.93
株式会社SBI証券	1,125	3.75
池本 治	971	3.24
楽天証券株式会社	904	3.01
三井住友海上火災保険株式会社	610	2.03
株式会社デベロッパース三信	550	1.83
小泉芳夫	499	1.66
肥田 篤	422	1.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	352	1.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	348	1.16

(注) 持株比率は自己株式 (66,213株) を控除して計算しております。

所有者別株式分布



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告により公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載して行う。

創立120周年記念 株主優待



120年間のご愛顧とご支援に
心より感謝申し上げます。

(イメージ)

ご所有の株式数に応じて120周年記念カタログギフト、および当社取り扱い商品の優待割引券を贈呈させていただきます。

詳細は当社ホームページをご覧ください。

<URL>

<http://www.daitobo.co.jp/>

平成28年9月30日現在の株主名簿に記載
または記録された1単元 (1,000株) 以上保有さ
れている株主様を対象といたします。

優待商品の発送は**平成28年12月**の予定です。

大東紡織株式会社

<http://www.daitobo.co.jp/>

本冊子に関するお問合せ先
経営管理本部 TEL : 03-3665-7816

